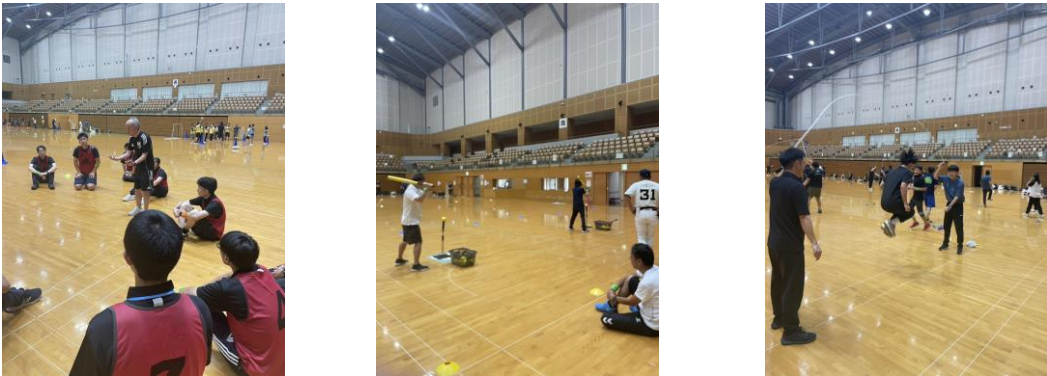


令和8年度 中・四国各県の研修会【報告】

【島根】県

研修会名称	島根県小学校体育授業研修会
期 日	令和8年7月24日(金) 9:00～15:10
会 場	島根県立浜山公園体育館 カミアリーナ メインアリーナ
内 容	テーマ『参加型で学ぶ体育授業のい・ろ・は みんなで高めよう島根の体育！！』 午前 開会行事 実技研修 「ベースボール型実技」「ゴール型実技」 講師 元プロ野球選手やNPB12球団からの派遣講師 公益財団法人日本サッカー協会からの派遣講師 午後 参加型模擬授業 「体育授業で困っている先生に送る授業のい・ろ・は」 (体づくり運動系 長縄・短縄等) 講師 桐蔭横浜大学 准教授 清水 由 先生
報 告	この研修会は、県内の小学校の先生方が一緒になって学ぶ研修会である。今年度は、午前中に、NPBと日本サッカー協会から講師をお招きして、ベースボール型と、ゴール型の研修を行った。午後には、桐蔭横浜大学の清水由先生をお招きし、体づくり運動の研修を行った。 まず、午前の部では、ベースボール型やゴール型が苦手な児童でもできる練習の方法や、ゲームの仕方を教えていただいた。例えばベースボール型では、ルールを工夫することによって、打つのが苦手な児童でも点を取れる経験をする事ができるルールを教えていただいた。ゴール型では、ボールではなく新聞紙を丸めたボールを使うことで、簡単にゴール型が楽しめるようになることを教えていただいた。教員側も簡単に準備でき、児童も楽しめる方法を教えていただき、授業ですぐに使えるスキルをご教授していただいた。 午後の部では、清水先生に体づくり運動の中の長縄・短縄について、参加型模擬授業で研修をしていただいた。すぐに使える短縄での準備運動や短縄を使った二人組でのとびかたを教えていただいた。また、長縄ではダブルダッチを通してどうしたらできるようになるか意見を出しながら挑戦した。最初はできなかった人が多くいたが、お互いに意見を出し合い、清水先生が整理していくことで、最終的にはほとんどの人がダブルダッチを跳べるようになった。 今回の研修を通して、指導に関するヒントを得ることができ、こどもたちが楽しく学ぶことができる授業づくりのヒントを得る機会となった。 

研修会名称	第60回島根県学校ダンス指導者研修会
期 日	令和8年7月31日(金) 8:45～16:30
会 場	安来市 市民体育館
内 容	実技研修「表現運動ダンス」 講師 香川大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 准教授 大西 美輪 先生 実技研修「フォークダンス」 講師 (公社)日本フォークダンス連盟公認指導者 梶谷 朱美 先生 (公社)日本フォークダンス連盟公認指導者 黒見 ひとみ 先生
報 告	この研修会は、県内の幼・保園、小・中学校・義務教育学校・高校といった異校種の先生方が一緒になって学ぶ研修会である。今年度は香川大学から、大西先生をお招きし、研修を行った。 大西先生の研修では、学年に合った表現運動やリズムダンスの学習方法を教えていただいた。いきなり即興で躍らせるのではなく、段階的に学習していくことで、だんだんと即興的に踊ることができるようになるということが分かった。例えば、動かす体の部位を意識させるために板書で手・足などのカードを示しながら動かしたのはどこだったかを確認することで、こどもたちが自分の動きを確認できる工夫を教えていただいた。実際の授業を想定しながら教えていただき、すぐに使えるスキルを得ることができた。 午後のフォークダンスの研修では、様々な国のフォークダンスを教えていただいた。型があることで、自然と周りの人とも打ち解け、楽しく踊ることができた。様々な種類のフォークダンスがあるので、学級の実態に合ったフォークダンスを選ぶことで、お互いの動きに合わせて踊る楽しさや全員で一体となって踊る楽しさを感じることができるのではないかなと思う。 表現運動領域の指導を苦手と感じている教員も、今回の研修を通して、指導に関するヒントを得ることができ、こどもたちが楽しく学ぶことができる授業づくりのヒントを得る機会となった。

